

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル JAあぶらんど萩地域営農連携協議会の取組み JA名 あぶらんど萩（山口県）

1 動機 （経緯）	<p>地域の高齢化や農業政策の変化により、農業経営体が個人から組織へと変わってきています。それらの農業経営体組織の活動や組織間の連携、法人化等の支援を通じて、地域農業の振興と集落機能の維持・発展に寄与するための取組みを行いました。</p>
2 概要	<p>組織間の連携支援として、集落営農組織間の話し合いを行う場の設定や資料提供などを関係機関と協力し行っています。</p> <p>また、法人化を目指す集落組織へ、各関係機関と共に話し合いの場に伺い、協議会設立に向けたスケジュールや事業計画などの作成支援などを行っています。</p> <p>協議会会員を対象にした、経理研修会や、毎年組織の課題解決に向けた視察研修会などを行っています。</p>
3 成果 （効果）	<p>組織間連携の成果として、全国的にも例の少ない農事組合法人の連合体組織が設立されました。</p> <p>集落組織の法人化支援を行った結果、平成 19 年度には 10 組織だった集落営農法人が、平成 27 年度には 37 組織へと増加しました。</p> <p>経理など多くの農業者が苦手としている部分の指導を通じて、組織とJAとの関わりを深めています。</p>
4 今後の予定 （課題）	<p>経営体が法人化や大型化すると、JAの事業利用率が低下する傾向にある為、組織経営体に利用してもらえるよう、対応力の強化や、需要を把握しそれに合った事業の取組みをしていく必要があります。</p>